

促成サヤインゲンでのスワルバンカーの使い方(鹿児島県)

鹿児島県農業開発総合センター

スワルバンカーの導入時期



害虫であるコナジラミの特徴

- ・ 雑草、トマトなど各種植物からハウス内へ侵入してくる。
- ・ 増殖力が高く、薬剤が効きにくい。
- ・ 多発すると莢の白化症(白化莢)が発生する。
- ・ **被害が拡大しやすく、収量・品質に大きな影響が出る。**



白化莢 正常莢

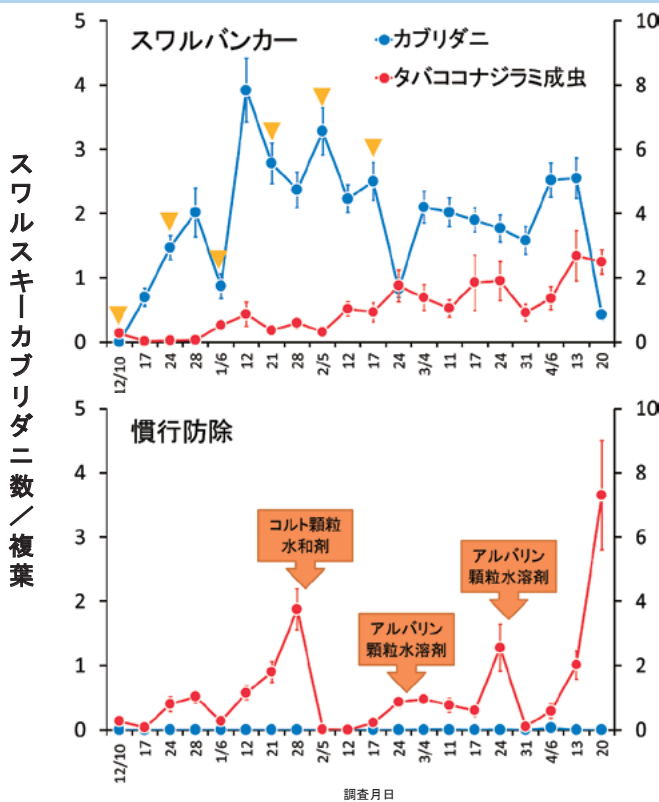


■ サヤインゲンで使われる主な農薬

	天敵への影響		
	大	中	小
殺虫剤	アディオン、アグロスリン、アフアーム、エルサン、コテツ、コルト、コロマイト、スミチオン、ダニロン、ダブルフェース、トレボン、マラソン	アクタラ、アドマイヤー、アルバリン、カスケード、スタークル、モスビラン	ニッソラン、フェニックス、プレバソン、各種BT、プレオ、
殺菌剤	イオウ	ベンレート	アフエット、アミスター、カンタス、スクレア、セイビアー

(注)天敵への影響 大:影響日数14日以上 中:1日~7日、小:0日

■ サヤインゲン現地実証試験(鹿児島県垂水市)



タバココナジラミ数/複葉



図. スワルバンカーと花粉散布を組み合わせたタバココナジラミの防除効果

注1) ▼ は花粉(Nutrimite™)散布時期を示す。
 注2) スワルバンカーの設置年月日は2016年12月10日
 注3) 鹿児島県垂水市での現地実証試験結果

サヤインゲンにおけるバンカーシートの設置手順



①バンカーシートの組立て
*100セット作成に1時間程度が必要。

◇ 生育初期にスワルバンカーを設置する

- 生育初期にアファーム乳剤等でリセット防除を行う。
- リセット防除に用いた薬剤が、スワルスキーカブリダニに影響がない時期を見計らいながら、支柱や誘引ひもを利用し、バンカーシートを等間隔に吊り下げる。



②バンカーシートの設置

* 規定設置数を等間隔に支柱や誘引ヒモなどを利用して吊り下げる。

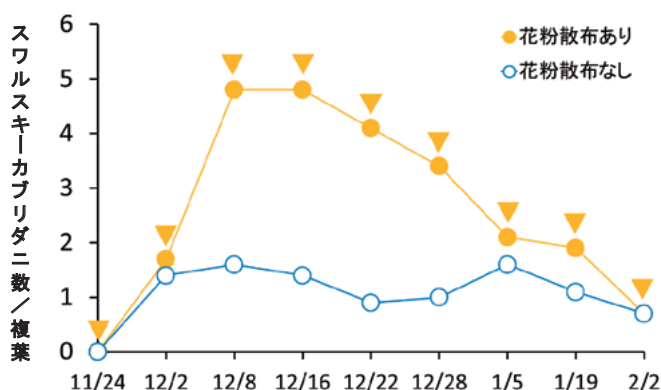


図. スワルスキーカブリダニへの花粉散布効果

注1) スワルバンカーの設置年月日は2015年11月24日

注2) ▼ は花粉 (Nutrimite™) 散布時期を示す。



③代替餌として花粉 (Nutrimite™) を2週間間隔で散布します

* 手動式やバッテリー式の散粉器具を用いる。

防除を成功させるポイント

- サヤインゲンではタバココナジラミ、アザミウマ類、チャノホコリダニへの効果が確認されている。
- 代替餌が乏しいサヤインゲンでは、**花粉 (Nutrimite™)** を定期的に散布すると天敵定着数が高まる。
- 暖房機を**15°C**に設定すると、スワルスキーカブリダニが活動しやすい。
- バンカーシート®による天敵放飼は、株間の分散がボトル剤より遅いので、一番花開花期など**早めに設置**する。
- 防除効果が期待できるスワルスキーカブリダニの密度は**複葉当たり2頭以上が目安**となる。
- **UVカットフィルム**の展帳は、カブリダニの嫌う紫外線を低減するとともにコナジラミへの侵入防止効果が期待できる。
- 放飼前には**リセット防除**を行い、使用薬剤の影響期間を参考に放飼時期を決める。
- リセット防除後に野外からの新たなコナジラミの侵入防止のため、施設のサイドと谷部には**防虫ネット**を設置する。
- **黄色粘着トラップ**の設置は発生時期・量のモニタリングや捕殺に有効であり、バンカーシートと同時に利用する。

平成29年度版 さやいんげん（促成加温型）のタバココナジラミ類のIPM防除例
 生育初期からバンカーシートを使ってタバココナジラミを上手にコントロールす

	播種	ビニール被覆	
	10~11月	11月	12月
天敵利用のポイント	<p>天敵に強い影響のある農薬は使用しない！ ★カブリダニ類に強い影響のある合成ピレスロイド、有機リン系、カーバメイト系殺虫剤等は使用しない。 天敵導入前はゼロ放飼を極力目指す！ ★天敵導入前は、コナジラミ密度ゼロが理想的(ゼロ放飼の徹底！) ★放飼前に必ず薬剤防除（リセット防除）を！ サヤインゲンにはカブリダニの代替餌となる花粉産生が乏しいので花粉散布を行う！ ★Nutrimiteを用い、2週間間隔での散布を原則とする。</p>		
防除対策	<p>【使用する天敵製剤】</p>  <p>バンカーシート® +スワルスキーカブリダニ +Nutrimite™</p>	<p>粒剤の播種 時土壌混和 処理で初期害虫の防除</p> <p>・アドマイヤー 1粒剤</p> <p>リセット 防除でゼロ放飼</p> <p>・アフーム乳剤</p>	 <p>— バンカーシート — 慣行防除体 ... 慣行防除体</p> <p>代替餌の供給 ・2週間間隔の花粉散布 (Nutri)</p>
注意点	<p>盛夏期の高温時時期（7~8月上旬まで）ではバンカーシートを使用しないこと（シート内が高温になり、</p>		
その他病害虫	アブラムシ類	アドマイヤー1粒剤(7~14)、アルバリンノスタークル顆粒水溶剤、	
	ハモグリバエ類	アフーム乳剤(7)、カスケード乳剤、プレオフロアブル、プレバソソ	
	アザミウマ類	ボタニガード水和剤、ボタニガードES	
	ハダニ類	コテツフロアブル(14)、コロマイトフロアブル(7)、サンクリスタル乳	
	コナジラミ類	アルバリンノスタークル顆粒水溶剤、オレート液剤、コルト顆粒水和剤	
	ヨトウムシ類	ゼンターリ顆粒水和剤、デルフィン顆粒水和剤、フローバックDFほか	
	菌核病	アフエットフロアブル、アミスター20フロアブル、カンタスドライブ	
	灰色かび病	アフエットフロアブル、アミスター20フロアブル、カンタスドライブ	

赤字はリセット防除薬剤またはレスキュー防除薬剤を示し、()は影

収穫				
1月	2月	3月	4月	5月

管理温度は15℃を下限とする。

★サヤインゲンの発芽適温は23~25℃、栽培適温は15~25℃である。

UVカットフィルムの展帳が望ましい。

★カブリダニの活動を活発にし、タバココナジラミの侵入防止にも役立つ。

サイド、谷間に防虫ネットを設置する。

★タバココナジラミの侵入防止対策になる。

黄色粘着トラップの設置を併用する。

★タバココナジラミのモニタリングと捕殺効果が期待できる。

ート+スワルスキー体系

系

系の白化莢発生

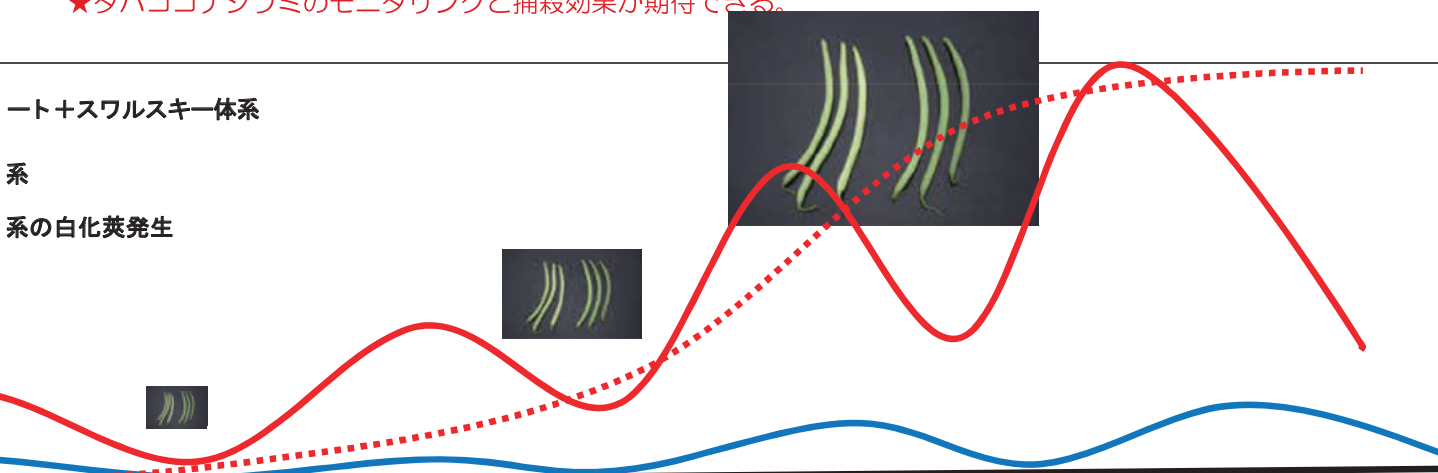


図 防除が異なるサヤインゲンにおけるタバココナジラミの発生パターンイメージ

mite)



カブリダニが複葉当たり定着数が2頭以下では効果が期待できないので、リセット防除またはレスキュー防除への切り替えを考慮する。

スワルスキーカブリダニが増殖しにくくなるため)

オレート液剤、サンクリスタル乳剤、ボタニガードES

フロアブル5、ミドリヒメ

剤、ダニトロンフロアブル(21)、ニッソラン水和剤、ミヤコ・チリカブリダニ剤

(14)、サンクリスタル乳剤、ボタニガード水和剤、ボタニガードES、マイコタール

Bt剤、フェニックス顆粒水和剤、プレオフロアブル、プレバソソフロアブル5

ロアブル、スクレアフロアブル、セイビアー20フロアブル

ロアブル、セイビアー20フロアブル、ハーモメイト水和剤

響日数の目安を示す。青字は生物農薬を示す。